



『科学を味方にした僕ができること』

北鹿島小学校 六年 森田 偉央

僕の夢は、科学者になることです。科学者は、科学の力ですごく便利なものを作り出すことができます。ただ、その反面で自然や人体などに有害なものも多く作り出してしまったのも事実です。

その中で今、問題になっている海洋プラスチックごみ問題も科学の力で作り出したプラスチックが原因です。もちろん、鹿島の素晴らしい肥前鹿島干潟にも及んでいます。

この干潟にあるごみは、ポイ捨てなどで捨てられ、それが自然の力でマイクロプラスチックに変化していきます。これを二次マイクロプラスチックと言い、小さなプラスチックとなって有明海を漂っています。実際、有明海でマイクロプラスチックを食べた小魚が見つかっています。ということは、ぼくたちの体内にも入ってきているということです。

科学者になった僕は、有害物質をこれ以上増やさないため、ポイ捨て防止用に看板を設置するだけでなく、海中にあるマイクロプラスチックを減らす研究を行い、科学の力で生み出した物は、科学の力で除去したいと考えます。

今以上に、肥前鹿島干潟をきれいにして、ムツゴロウなどのここにしかない鹿島の生態系を豊かにしていきたいです。そして、改めて肥前鹿島干潟は素晴らしいところだと県外や世界中の人に知ってもらいたいです。

将来、僕がこの研究の成果をあげたら、世界中の海がきれいになり、干潟は鹿島が世界一と呼ばれるようになり、県外や海外から干潟を見に来る人が増え、鹿島市に観光客が増えてくれればいいと思います。そして、干潟を見に来た人に正しい知識の呼びかけを行うのも、発明をした科学者である僕がすべきことだと思います。

この活動で、自然の豊かさや人々の活気が満ちあふれた鹿島を作っていきたいです。